

学校づくりビジョン 2011~2013 西橋北小学校

めざす学校の姿

子どもも教師も

達成感、充実感、存在感

あふれる学校

できた

やりとげた

役に立った

自分を出せた

わかった

がんばった

みとめられた

めざす子どもの姿

- ・意欲的に学習する子
- ・仲間とつながり、高め合える子
- ・最後までがんばる子
- ・健康に留意し、たくましく生きる子

【学校の現状と課題】

- ・児童は、全体的に明るく素直、お互い良く知り合い、男女・学年関係なく仲がよい。
- ・単学級による人間関係の固定化が見られ、自分を出し切れていない子、自分に自信が持てない子もいる。
- ・学校・家庭・地域で一人一人が大事にされているが、反面、受動的で依頼心が強くなりがちである。
- ・つながりを深め、自分の思いを表現する力、自尊感情、自主性・自立心を育てる必要がある。
- ・保護者の教育への関心は高く、学校への期待も大きい。地域の人や保護者は、学校に対して全般的に協力的。
- ・学びの一体化の充実（授業改善）が課題。

【経営方針の重点】

- 全教職員の共通理解を大事にし、組織的な教育実践を進める。
- 生活背景を含めた児童理解に努め、保護者連携を大切にする。
- 中学校区における“学びの一体化”の推進・充実を図る。
- 学び合いと、ゆとりがあってやる気の出る職場づくりに努める。
- 安心・安全および人権が保障された教育環境づくりに努める。
- 学校自己評価や外部評価から、継続的な改善を進める。

重点目標と具体的方策

1. 確かな学力の保障

- * 「読む・書く・聞く・話す」力の定着・向上と「活用力」育成
- * 「さわやかタイム」の効果的な運用
- * 家庭での学習習慣の確立
- * 学力調査・到達度調査による分析と指導方法の工夫
- * 個の的確なとらえとそれを生かしたきめ細かな指導
- * 中学校区における公開授業・合同研修等による授業改善

2. 心の教育の充実

- * 一人一人が輝く活躍の場の設定
- * 人権教育・特別支援教育の充実（人権が保障された環境）
- * 読書活動の推進
- * 東橋北小、中・幼・保との交流活動の充実
- * 「あいさつ」「時刻を守る」「そうじ」等の日常的指導（子どもの姿を評価の指標とする）
- * 体験活動の推進、充実（人から学ぶ）

3. 健康・体力の向上

- * 「早おき・早ね・朝ごはん」を中心に、生活リズムの指導
- * いのちを大切に性教育
- * 食育の推進
- * 外遊びの奨励

4. 開かれた学校づくり

- * 地域ボランティア、地域のゲストティーチャーの要請・活用
- * 学習ボランティアの活用
- * 老人会との交流活動
- * 学校通信各戸回覧やHP等での情報発信および受信
- * 児童・保護者アンケート、学校自己評価、関係者評価による改善
- * 総合学習等における地域との結びつき（体験活動の推進）